

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等 コラボ研修プログラム 支援事業報告書	実施機関名・連携機関名 実施機関：山口大学大学院教育学研究科（教職大学院）、NITS 山口大学センター 連携機関：山口県教育委員会、岩国市教育委員会
	テーマ： ミドルリーダー（充実期におけるリーダー教員）に求められる資質能力と育成方途
	研修等名：【NITS・教職大学院コラボ研修】 研修会名 「NITS カフェ in IWAKUNI」（山口大学教職大学院 第5回 NITS カフェ） 研修タイトル 「これぞミドルリーダー！これこそがデキル中堅！ ～ 充実期教員に求められるもの～」
	開催日時：令和3年11月6日 13:30～17:30 開催場所：岩国市民文化会館「小ホール」（山口県岩国市山手1丁目15番3号） 参加人数：31人 参加者属性：現職教員17人、教育委員会関係者7人、大学教員3人、大学院生3人、講師1人

内容：

(1)開会行事

主催者（教職大学院）を代表し、佐々木司専攻長が、NITSと本学教職大学院とのつながり、NITSカフェへの取り組みの歩みと成果、今回の意義と岩国市開催のねらい等を盛り込んだ挨拶を行った後、概要説明と諸連絡、地元岩国市教委関係者の紹介を行った。

(2)班別グループワーク（café形式の熟議）

「山口県教員育成指標」と「中堅（充実期）教員が目指す姿」、対象を第4回までの若手（自立・向上期）教員から中堅教員に移行した背景とねらいについて参加者全員で確認した後、6グループに分かれて「カフェ」を行った。グループについては、第4回までの校種別編成から校種混合のランダム編成に切り替えた。参加者が理想のミドルリーダー像を描く際に、校種の枠（視点、視野や校種特有の制約等）に縛られることなく、より多様、多彩で実力あるリーダーモデルを描かせたいと考えたこと、前回までの参加者の声に「他校種教員の考えや発想からも学びたい」というものが多かったことを反映したものである。

グループワーク「カフェ」では、①今までの教職で出会ってきた理想のミドルリーダーの個人発表と交流、②グループごとに「目指すべき理想のミドルリーダー像（必要条件等）」の決定、③「理想のミドルリーダーとしての目標行動を4ジャンル（任意）で整理し、自分たちの姿や今後の在り方を具体的に描く、④シェアリングをととして全員で共有する流れで実施した。なお、④のジャンルには、ミドルリーダーの関与を強く期待する経営・運営参画と教職員の集団づくりを必須とした。

豊かな発想や今までの経験、出会いをふまえた活発な熟議が展開され大いに盛り上がった。「他の範となるためには、自らが高く実践的な指導力を有しておくべき」、「周囲に活力と元気を与える火付け役としてあるべき」、「管理職の経営・運営の方向と若手教員の間を組織的につなぐ役割を果たすべき」等々の考えが多く、それを「風林火山（フットワークは風の如し、巻き込む熱さは火の如し、つながりづくりは林の如し、ぶれない芯は山の如し）」と表現したグループや、「バランスとハンドリングが肝心で、感受性や（成長）マインドを大切にしよう」と表現したグループもあった。

全体で共有するとともに、「こ・れ・ぞ・ミ・ド・ル」を頭文字とした表現を行った。やはり自分自身が常に前向きで、明朗快活に、日々の実践や運営に参画する姿を見せることが大切とした「ル・んるんとい楽しむ！」や「ル・キーの心は持ち続けよう！」と訴えるメッセージが多く、大変有意義なワークとなった。

その後、山口県教育庁教職員課の吉川和夫主査より、講評・指導助言を受けた。学校と企業等の経営スタイルの違いに伴うマネジメントや人材育成の在り方、中堅世代（教員や社員等）の立ち位置と働き方の違い等について、グループワークの熟議状況や参加者の反応等に対す

ようこそ！第5回（2021年度）「NITS-Café in IWAKUNI」へ

本日の「Café」は... 分です！

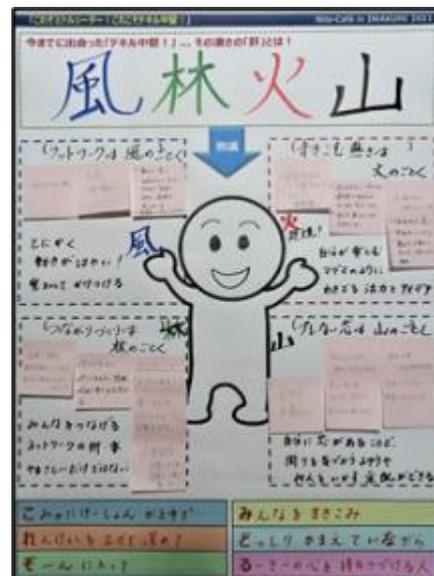
はじめの10分間は... **出会ってきた「理想のミドル」を交流しましょう！**

課題 「こんな凄いな！こんなカッコイイ！こんな理想のミドルに出会ってきた！」
→ どこが凄いか、何が違うのか、それはなぜなのか...
出し合って、「肝」を炙り出しましょう！

↓

続いて... **4つのジャンルを設定して、「そのジャンルにおける理想のミドルの行動（目指す姿）や力（資質能力）」を整理しましょう。**
→ ジャンルの中に「経営・運営参画」と「教職員の集団づくり」は必ず入れてください。後は任意です。
→ 中堅層に思い浮かばなければ、教頭・副校長クラスを想定してください。アツク語り、笑い、涙し、楽しく交流しましょう！

「café = ちゃぶ台」スタイルです。楽しく、飲食可で、盛り上がりましょう！



るコメントも盛り込みながらの指導助言であった。

その後、「ミドルリーダーを育てる ～組織づくりとマネジメント～」と題して、横浜市立日枝小学校の住田昌治校長の講演を行った。ご自身の学校経営の在り方として、「校長のキャパを超える学校づくり」、「コントロール型からマネジメント型へ」、「未来にコミットしたリーダーシップ」、「ワクワクの共有」、「コンフリクト・マネジメント」、「校長自らルーチンを変えていく」、「対話を生み出すファシリテーターたれ」等の至極の言葉が溢れ、参加者全員の貴重な研修機会となった。

最後に、NITS 山口大学センターの和泉研二センター長が、研修のまとめを行うとともに岩国市教委への謝辞および閉会挨拶を行い散会した。

成果：

(1)リフレクションの方法と結果

今回のカフェでは、Google Forms による省察と評価を行うこととし、行事終了後 1 週間以内の回答を依頼した。参加者 31 人のうち講師、大学教員以外の 23 人から回答を得た。

「①行事の満足度」では 86.9%が「大変満足」、13.1%が「満足」とした。「②自身のキャリア形成、人材育成や業務上の有効性」は全員（100%）が「大いに役立った」とした。各研修内容等の満足度については、「研修内容（ミドル人材の育成）」では「大変良い」86.9%、「良い」13.1%、「カフェ形式（ワーク）の導入」では全員（100%）が「大変有効」、「シェアリング」と「住田校長の講演」では「大変満足」が 82.6%、「満足」が 13.0%、「どちらとも言えない」が 4.4%となった。

(2)NITS カフェでの学び（参加者回答による「NITS カフェでの学び実感の内容」から）

参加者からは、「目指すミドル像の再形成」、「ミドルリーダーとしての視点」、「人は育てるものではなく育つもの。人材育成は育つ手助けの場を作ること」、「人材育成術と研修やワークの進め方」、「ミドルの役割と自覚の瞬間」、「理想像をもち、今の自分を比べて、足りない部分を考えてそのゴールに向かって行くこと」、「違いの中に共有できる事象を探ること」、「リーダーは答えよりも問いかけが大切」、「学校という職場の構造、マネジメントの仕方とリーダーとしてのマインドセットの理解」等のフレーズが並んだ。

アイデアや工夫したこと：

- (1)「カフェ」形式で行ったワークショップでは、本学が開発し 15 年の経験を有する「ちゃぶ台方式」= カフェ形式を導入したこと。参加者の階層、所属、経験年数等による「上下」「一方的」関係を防ぎ、立場や経験を乗り越えて協働的雰囲気の中で協議や交流が進むよう配慮した。
- (2)「シェアリング」では、各グループの発表について、目指すミドルリーダーとしての目標行動を具体的な教員の姿で描かせ、発表させることをとおして「見える化」し、研修の実効性向上に配慮した。また、「あいうえお作文」の作成と呼びかけを取り入れ、聞くだけで終わらない能動的な参加を促した。
- (3)「講演」では、ミドルリーダーの育成、学校経営と人材育成、積極的な学校・教育改革等に実績と指導経験豊富な「全国区」の講師を招聘することにより、参加者の参加意欲を高めるとともに、全国動向の正しい理解やミドルリーダーとしての視野拡大ができるよう配慮した。
- (4)岩国市で開催し、県内巡回型公開講座として地域の教員研修、ミドルリーダー養成に貢献できるよう配慮するとともに、オンライン配信によるハイブリッド研修として実施し、事業の拡散を図ることに配慮した。

<写真・図 など>

